

スジメ養殖について

鳥取県栽培漁業協会では、従来のアワビやサザエの種苗生産に加えて、これらの餌となるワカメ等の海藻養殖にも2年前から取り組んできました。

今回、新たにスジメという海藻養殖にチャレンジし、大きな手ごたえをつかみましたので皆さんに報告します。

【 きっかけ 】

アワビやサザエの稚貝には、人工の配合餌料を与えて育てます。しかし、配合飼料のみを与えて育てられたアワビやサザエは、放流後、環境に適応しづらいと考えられました。

このため、放流前から生の海藻を与えた方が、放流後、直ぐに環境に適応でき、生き残りがよくなるのでは？との考えからスタートしました。

【 新たな取組 —スジメ養殖— 】

平成19年末から平成20年春にかけてスジメの養殖試験を行いました。

その結果、長く伸びたスジメをたくさん収穫することに成功しました。

また、アワビの稚貝に餌として与えたところ、活発に摂餌する様子が確認されました。



図7 養殖されたスジメ



図8 スジメを活発に摂餌するアワビ

【 スジメについて 】

この辺りではなじみのないスジメですが、スジメはコンブと同じく北方系の海藻です。

1年生海藻で葉に5本の筋があり、これが名前の由来と言われています。



図9 5本筋が特徴のスジメ

春先にとれる若い葉の部分を利用し、天ぷら、海藻サラダ、味噌汁の具等として美味しくいただくことができます。

さらに、コンブと比べて食物繊維であるアルギン酸や鉄分、カルシウム等さまざまな栄養素も多く含まれ、健康食品としても注目されています。

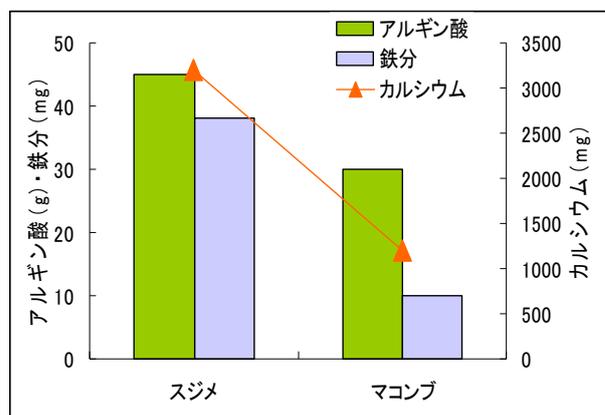


図10 スジメ及びマコブ乾燥物100gあたりにおけるアルギン酸、鉄分、カルシウム量の比較

以上のように、美味しく栄養価の高いスジメ。今回の試験で、県内でも冬から春にかけて養殖可能であることがわかりました。

みなさんもスジメ養殖を始めてみませんか？